

## 西瀬戸自動車道の年表

西瀬戸自動車道(愛媛県今治市)

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

年度	西暦	全体	市町村別	
			市町村名	内容
大正8年度	1919	4月、 <b>道路法公布</b>		
大正8年度	1919	12月、 <b>道路構造令・街路構造令制定</b>		
昭和27年度	1952	6月、 <b>道路法公布</b>		
昭和28年度	1953	<b>四国国体開催</b>		
昭和29年度	1954	<b>第1次道路整備五箇年計画(昭和29~33年度)の策定</b>		
昭和30年度	1955	8月、広島、愛媛両関係者らが瀬戸内海大橋建設について話し合い、架橋促進運動展開を決定(本州四国連絡橋公団三十年史744-745頁)		
昭和32年度	1957	4月、 <b>高速自動車道法公布</b>		
昭和32年度	1957	4月、 <b>道路法改正(高速自動車国道が道路の種類に追加)</b>		
昭和32年度	1957	昭和33年3月、 <b>道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律公布</b>		
昭和32年度	1957	昭和33年3月、 <b>道路整備特別会計法公布</b>		
昭和32年度	1957	昭和33年3月、 <b>道路法改正(一級国道の新設・改築は建設大臣が行うなど)</b>		
昭和33年度	1958	<b>第2次道路整備五箇年計画(昭和33~37年度)の策定</b>		
昭和33年度	1958	6月、四国地方建設局設置(道路ポケットブック2009年2頁)		
昭和33年度	1958	8月、 <b>道路構造令公布</b>		
昭和33年度	1958	昭和34年3月、 <b>道路法改正(自動車専用道路制度の創設)</b>		
昭和34年度	1959	4月、建設省が本州四国架橋Aルート(明石・鳴門)、Cルート(日比・高松)、Dルート(児島・坂出)、Eルート(尾道・今治)の4ルートを対象に地質調査・経済調査を開始(本州四国連絡橋公団三十年史746頁)		
昭和35年度	1960	6月、中国・四国・九州連絡道路建設促進協議会が発足(本州四国連絡橋公団三十年史746頁)		
昭和35年度	1960	7月、 <b>国土開発幹線自動車道建設法公布</b>		
昭和35年度	1960	10月、 <b>四国地方開発促進計画(第1次)の策定</b>		
昭和36年度	1961	第3次道路整備五箇年計画(昭和36~40年度)		
昭和36年度	1961	4月、建設省がBルート(宇野・高松)を調査対象に採択。日本国有鉄道がBルート(宇野・直島・高松)、Cルート(宇野・大槌島・高松)、Dルート(下津井・坂出)を調査対象に採択(本州四国連絡橋公団三十年史747頁)		
昭和36年度	1961	8月、建設省と国鉄が、橋梁の技術上の諸問題に関する調査を土木学会に共同委託(本州四国連絡橋公団三十年史747頁)		
	1962	10月、 <b>全国総合開発計画の策定</b>		
昭和37年度	1963	4月、愛媛県中国四国連絡道路建設促進期成同盟会結成(会長今治市長)(本州四国連絡橋公団三十年史745頁)		
昭和38年度	1963	4月、 <b>共同溝の整備等に関する特別措置法公布</b>		
昭和39年度	1964	<b>第4次道路整備五箇年計画(昭和39~43年度)の策定</b>		
昭和39年度	1964	7月、 <b>道路法改正(一級国道、二級国道の区別が廃止、一般国道の制度創設)</b>		
昭和39年度	1964	昭和40年2月、 <b>四国地方開発促進計画(第2次)の策定</b>		
昭和40年度	1965	5月、土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会が第一次報告書を答申(本州四国連絡橋公団三十年史749頁)		
昭和40年度	1965	昭和41年3月、土木学会本州四国連絡橋技術調査委員会が中間報告を発表(本州四国連絡橋公団三十年史750頁)		
昭和41年度	1966	4月、 <b>交通安全施設等整備事業の推進に関する法律公布</b>		
昭和41年度	1966	11月、瀬戸内海大橋建設推進愛媛県本部設置(本州四国連絡橋公団三十年史750頁)		
昭和42年度	1967	<b>第5次道路整備五箇年計画(昭和42~46年度)の策定</b>		
昭和42年度	1967	6月、土木学会長が建設省と鉄建公団に本州四国連絡橋技術調査報告書(最終)を提出(本州四国連絡橋公団三十年史750頁)		
昭和42年度	1967	昭和43年2月、建設省と運輸省が本州四国連絡橋の工費、工期の調査結果を発表(B、Cルートは工事が難しく、工費も高くなるため、ルートはA(明石・鳴門)、D(児島・坂出)、E(尾道~今治)の3ルートに絞られた(本州四国連絡橋公団三十年史751頁)		
昭和44年度	1969	5月、 <b>新全国総合開発計画の策定</b>		
昭和45年度	1970	<b>第6次道路整備五箇年計画(昭和45~49年度)の策定</b>		
昭和45年度	1970	7月、本州四国連絡橋公団設立(大三島橋工事誌2頁)		
昭和45年度	1970	10月、 <b>道路構造令改定(交通量に基づく車線数の決定)</b>		

## 西瀬戸自動車道の年表

### 西瀬戸自動車道(愛媛県今治市)

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

年度	西暦	全体	市町村別	
			市町村名	内容
昭和46年度	1971	4月、 <b>道路法改正(交通安全のための規定整備)</b>		
昭和47年度	1972	11月、本州四国連絡橋公団が本州四国連絡橋調査報告書を建設、運輸両大臣に提出(神戸・鳴門ルート及び児島・坂出ルートは道路鉄道併用橋、尾道・今治ルートは道路単独橋)(本州四国連絡橋公団三十年史756頁)		
昭和48年度	1973	<b>第7次道路整備五箇年計画(昭和48~52年度)の策定</b>		
昭和48年度	1973	10月、建設大臣及び運輸大臣から本州四国連絡橋の工事実施計画認可(大三島橋工事誌2頁)		
昭和48年度	1973	11月、総需要抑制策の一環として本州四国連絡橋起工式延期(大三島橋工事誌2頁)		
昭和50年度	1975	8月、経済企画庁、建設省、国土庁の三省庁協議により、児島～坂出ルート及び大鳴門橋、大三島橋、因島大橋の3橋を着手する「1ルート3橋」案が合意(西瀬戸自動車道建設誌30頁)	今治市(伯方町)	12月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> (全長328m)起工式(大三島橋工事誌2頁)
昭和50年度	1975		今治市(上浦町)	12月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> (全長328m)起工式(大三島橋工事誌2頁)
昭和50年度	1975		今治市(伯方町)	昭和51年3月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 上部工事着手(大三島橋工事誌2頁)
昭和50年度	1975		今治市(上浦町)	昭和51年3月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 上部工事着手(大三島橋工事誌2頁)
昭和51年度	1976		今治市(伯方町)	9月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 陸上部工事着手(大三島橋工事誌2頁)
昭和51年度	1976		今治市(上浦町)	9月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 陸上部工事着手(大三島橋工事誌2頁)
昭和51年度	1976		今治市(伯方町)	昭和52年3月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 下部工事完了(大三島橋工事誌2頁)
昭和51年度	1976		今治市(上浦町)	昭和52年3月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 下部工事完了(大三島橋工事誌2頁)
昭和52年度	1977	11月、 <b>第三次全国総合開発計画の策定</b>	今治市(伯方町)	7月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 上取付橋上部工完了(大三島橋工事誌2頁)
昭和52年度	1977		今治市(上浦町)	7月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 上取付橋上部工完了(大三島橋工事誌2頁)
昭和52年度	1977		今治市(伯方町)	8月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 上部工事に伴うパイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史762頁)
昭和52年度	1977		今治市(上浦町)	8月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> 上部工事に伴うパイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史762頁)
昭和53年度	1978	<b>第8次道路整備五箇年計画(昭和53~57年度)の策定</b>	今治市(伯方町)	5月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> アーチリブ閉合(本州四国連絡橋公団三十年史764頁)
昭和53年度	1978	昭和54年1月、国土庁、運輸省、建設省の協議により、事業化を図る橋梁として伯方・大島大橋が追加決定(大三島橋工事誌2頁)	今治市(上浦町)	5月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> アーチリブ閉合(本州四国連絡橋公団三十年史764頁)
昭和53年度	1978	昭和54年3月、 <b>四国地方開発促進計画(第3次)の策定</b>		
昭和54年度	1979		今治市(伯方町)	5月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> の竣工、開通式、供用開始(大三島橋工事誌2頁)
昭和54年度	1979		今治市(上浦町)	5月、 <b>大三島橋[愛媛39]</b> の竣工、開通式、供用開始(大三島橋工事誌2頁)
昭和55年度	1980		今治市(伯方町)	昭和56年3月、 <b>伯方・大島大橋[愛媛42]</b> (全長1,230m)着工(西瀬戸自動車道建設誌128-129頁)
昭和55年度	1980		今治市(宮窪町)	昭和56年3月、 <b>伯方・大島大橋[愛媛42]</b> (全長1,230m)着工(西瀬戸自動車道建設誌128-129頁)
昭和57年度	1982	9月、 <b>道路構造令改定(沿道の生活環境への配慮)</b>		
昭和58年度	1983	第9次道路整備五箇年計画(昭和58~62年度)		
昭和59年度	1984		今治市(宮窪町)	昭和60年2月、宮窪トンネル貫通(本州四国連絡橋公団三十年史773頁)
昭和59年度	1984		今治市(伯方町)	昭和60年3月、 <b>伯方・大島大橋[愛媛42]</b> 下部工竣工(本州四国連絡橋公団三十年史773頁)
昭和59年度	1984		今治市(宮窪町)	昭和60年3月、 <b>伯方・大島大橋[愛媛42]</b> 下部工竣工(本州四国連絡橋公団三十年史773頁)
昭和60年度	1985		今治市(伯方町)	10月、 <b>大島大橋[愛媛42]</b> パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史774頁)
昭和60年度	1985		今治市(宮窪町)	10月、 <b>大島大橋[愛媛42]</b> パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史774頁)
昭和61年度	1986		今治市(伯方町)	昭和62年3月、 <b>大島大橋[愛媛42]</b> 補剛リブ閉合式(本州四国連絡橋公団三十年史776頁)
昭和62年度	1987	6月、 <b>第四次全国総合開発計画の策定</b>	今治市(伯方町)	昭和63年1月、 <b>伯方・大島大橋[愛媛42]</b> 供用(西瀬戸自動車道建設誌128-129頁)
昭和62年度	1987	12月、国土・運輸・建設三大臣協議により、来島大橋事業化追加決定(本州四国連絡橋公団三十年史778頁)	今治市(宮窪町)	昭和63年1月、 <b>伯方・大島大橋[愛媛42]</b> 供用(西瀬戸自動車道建設誌128-129頁)
昭和63年度	1988	<b>第10次道路整備五箇年計画(昭和63~平成4年度)の策定</b>	今治市(吉海町)	5月、 <b>来島海峡大橋[愛媛43]</b> (全長4,105m)着工(西瀬戸自動車道建設誌148-149頁)
昭和63年度	1988		今治市	5月、 <b>来島海峡大橋[愛媛43]</b> (全長4,105m)着工(西瀬戸自動車道建設誌148-149頁)
平成元年度	1989	6月、 <b>道路法改正(立体道路制度の創設)</b>		
平成元年度	1989	12月、国土・運輸・建設三大臣協議により、多々羅大橋事業化追加決定(本州四国連絡橋公団三十年史781頁)		
平成2年度	1990	5月、 <b>四国地方開発促進計画(第4次)の策定</b>	今治市(上浦町)	8月、 <b>多々羅大橋[愛媛41]</b> (全長1,480m)起工(西瀬戸自動車道建設誌92-93頁)
平成3年度	1991	5月、 <b>道路法改正(自動車駐車場に関する規定の整備)</b>	今治市(吉海町)	平成4年2月、 <b>来島大橋[愛媛43]</b> 4A鋼ケーラン沈殿(本州四国連絡橋公団三十年史783頁)
平成3年度	1991		今治市	平成4年2月、 <b>来島大橋[愛媛43]</b> 4A鋼ケーラン沈殿(本州四国連絡橋公団三十年史783頁)

## 西瀬戸自動車道の年表

西瀬戸自動車道(愛媛県今治市)

青:「主要事業の概要」掲載項目

オレンジ:関連する主な法制度、計画

緑:主要な自然災害

年度	西暦	全体	市町村別	
			市町村名	内容
平成4年度	1992	平成5年2月、 <b>道の駅に関する要綱制定</b>		
平成5年度	1993	<b>第11次道路整備五箇年計画(平成5~9年度)の策定</b>	今治市(吉海町)	10月、 <b>来島大橋[愛媛43]</b> 3P鋼ケーン設置(本州四国連絡橋公団三十年史784頁)
平成5年度	1993	<b>11月、道路構造令改定(人が中心の道づくりへの取り組み)</b>	今治市	10月、 <b>来島大橋[愛媛43]</b> 3P鋼ケーン設置(本州四国連絡橋公団三十年史784頁)
平成6年度	1994		今治市(上浦町)	4月、 <b>多々羅大橋[愛媛41]</b> 2P、3P定礎式(本州四国連絡橋公団三十年史784頁)
平成6年度	1994	平成7年3月、 <b>電線共同溝の整備等に関する特別措置法公布</b>	今治市(上浦町)	平成7年3月、 <b>多々羅大橋[愛媛41]</b> 塔基礎コンクリート完了式(本州四国連絡橋公団三十年史785頁)
平成7年度	1995	平成8年3月、尾道～今治ルートの愛称を「瀬戸内しまなみ海道」に決定(西瀬戸自動車道建設誌35頁)		
平成8年度	1996	4月、大三島橋通行台数500万台突破(本州四国連絡橋公団三十年史785頁)	今治市(吉海町)	6月、 <b>来島第一大橋[愛媛43]</b> パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史785頁)
平成8年度	1996	4月、伯方・大島大橋通行台数500万台突破(本州四国連絡橋公団三十年史785頁)	今治市	6月、 <b>来島第一大橋[愛媛43]</b> パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史785頁)
平成8年度	1996	<b>5月、道路法改正(道路交通騒音に関する規定の整備)</b>	今治市(上浦町)	6月、 <b>多々羅大橋[愛媛41]</b> 2P、3P主塔閉合(本州四国連絡橋公団三十年史786頁)
平成8年度	1996		今治市(吉海町)	10月、 <b>来島第二、第三大橋[愛媛43]</b> パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史786頁)
平成8年度	1996		今治市	10月、 <b>来島第二、第三大橋[愛媛43]</b> パイロットロープ渡海(本州四国連絡橋公団三十年史786頁)
平成9年度	1997	<b>平成10年3月、21世紀の国土のグランドデザインの策定</b>	今治市(上浦町)	9月、 <b>多々羅大橋[愛媛41]</b> 主桁閉合(本州四国連絡橋公団三十年史787頁)
平成10年度	1998	<b>第12次道路整備五箇年計画(平成10~14年度)の策定</b>		
平成10年度	1998	<b>6月、道路法改正(高速道路ICの利便増進施設の占用に関する規定の整備)</b>		
平成10年度	1998	平成11年3月、 <b>四国地方開発促進計画(第5次)の策定</b>		
平成11年度	1999	5月、西瀬戸自動車道(尾道～今治ルート[愛媛79])の全線開通(西瀬戸自動車道建設誌26頁)	今治市(吉海町)	5月、 <b>来島海峡大橋[愛媛43]</b> 完成(西瀬戸自動車道建設誌35頁、144-163頁)
平成11年度	1999	平成12年3月、伯方・大島大橋1,000万台突破(本州四国連絡橋公団三十年史790頁)	今治市	5月、 <b>来島海峡大橋[愛媛43]</b> 完成(西瀬戸自動車道建設誌35頁、144-163頁)
平成11年度	1999		今治市(上浦町)	5月、 <b>多々羅大橋[愛媛41]</b> 供用(西瀬戸自動車道建設誌92頁)
平成13年度	2001	<b>4月、道路構造令改定(道路利用者の独立した空間の確保)</b>		
平成15年度	2003	7月、 <b>道路構造令改定(コスト縮減への対応)</b>		
平成15年度	2003	10月、 <b>第1次社会資本整備重点計画(平成15~19年度)の策定</b>		
平成16年度	2004	<b>6月、道路法改正(高速道路SA・PAの利便施設部分に関する規定の整備)</b>		
平成18年度	2006	平成19年3月、 <b>道路法改正(道路の機能へのにぎわい交流の場としての機能等の追加)</b>		
平成20年度	2008	7月、 <b>国土形成計画(全国計画)の策定</b>		
平成20年度	2008	平成21年3月、 <b>第2次社会資本整備重点計画(平成20~24年度)の策定</b>		
平成21年度	2009	8月、 <b>四国圏広域地方計画の策定</b>		
平成21年度	2009	8月、 <b>四国ブロックの社会資本の重点整備方針の策定</b>		
平成24年度	2012	8月、 <b>第3次社会資本整備重点計画(平成24~28年度)の策定</b>		
平成25年度	2013	6月、 <b>道路法改正(道路の点検、大型車両の通行の誘導等の道路の老朽化対策)</b>		
平成27年度	2015	8月、 <b>新たな国土形成計画(全国計画)の策定</b>		
平成27年度	2015	平成28年3月、 <b>四国圏広域地方計画の策定</b>		
平成27年度	2015	平成28年3月、 <b>四国ブロックにおける社会資本整備重点計画の策定</b>		

### 資料

1 本州四国連絡橋公団編「大三島橋工事誌」(1983年)

2 本州四国連絡橋公団編「しまなみ海道 本州四国連絡橋／西瀬戸自動車道建設誌」(1999年)

3 本州四国連絡橋史編さん委員会編「本州四国連絡橋公団三十年史」(2000年)